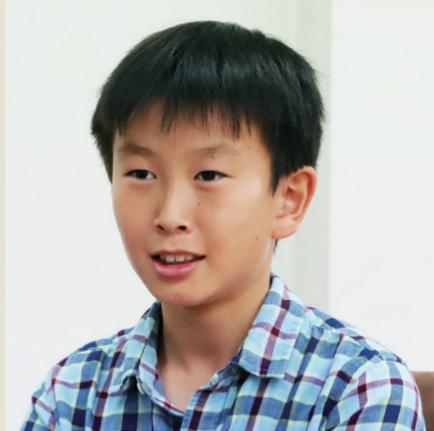


後世に 物語を紡ぐ



に湖北小学校が創立150周年を迎えます。
(歳)が定められた後、刀寧小学校、我孫子小学校、中峠小学校として
長先生に話を伺いました。



我孫子第一小学校 岡部航平さん
(6年生)



湖北小学校 藤井優里那さん
(6年生)



布佐小学校 片岡祭さん
(6年生)



我孫子第一小学校 神原憲樹校長

神原校長 一小では、2月に行う創立記念式典で、子どもたちが学習発表をする予定です。また、新しいキャラクターを決め、バンダナも作りました。

岡部さん 150周年記念のキャラクターは、全児童から募集して児童会などで4つに絞り、全校投票で「ピヨ吉」に決定しました。「ピヨ」は鳥を表しており、「鳥のまち我孫子」にぴったりです。「吉」はこれからも一小に良いことがあるように、という願いが込められています。

長田校長 湖北小の150周年記念事業は計画中です。式典は令和6年1月を予定しており、思い出に残る良い1年となるように計画していきます。

番場さん(湖北小) 新型コロナウイルス感染症の影響で少なくなってしまった全校行事などをやってみたいです。

藤井さん 創立100周年の時のように、150周年でも航空写真を撮って歴史を積み重ねてほしいです。



▲一小の150周年記念キャラクター「ピヨ吉」



▲湖北小の創立100周年記念航空写真

新型コロナウイルス感染症の影響で変わった学校生活

片岡さん 給食で友達との会話がなくなったり、マスクで友達や先生の表情が分かりにくくなってしまったり、学校生活が変わったことを感じます。タブレットを使い、動画配信やライブ中継で修学旅行の様子を家族に伝えられるなど新しい楽しみもありますが、「当たり前」の大切さを知りました。

星野市長 新型コロナウイルス感染症が流行する前は、みんなと一緒に給食を食べながら話をすることが私の一番の楽しみでした。片岡さんが入っているような吹奏楽部の子からは、欲しい楽器の相談などがありました。またみんなと一緒に給食を食べながら話がしたいです。

岡部さん 行事の時間が短いので、もっと楽しみたいです。また、マスクがあるので、目だけで表情を伝えなくてはいけないことが、以前とは違うと思います。

星野市長 話をする時に、日本の赤ちゃんは目を見るけれど、ヨーロッパの赤ちゃんは口を見る、という研究があります。「目は口ほどに物を言う」ということわざのように、日本人は目で察しようという、ヨーロッパの人たちとの違いがあることを知っておくと面白いと思います。

藤井さん 給食中は黙食なので寂しく感じます。コロナ禍でタブレットを使う機会が増え、タイピングの上達などが新しい楽しみになっています。

星野市長 新型コロナウイルス感染症の状況を逆手にとってできたこともあります。悔しいことや失敗したことがあっても、前向きに考えられる人

になってほしいです。

番場さん 新型コロナウイルス感染症が流行して、みんなが以前より手洗いやうがいをするようになり、インフルエンザなどが減ったので、その大切さが分かりました。

星野市長 握手を避ける人もいますが、握手だけでは感染しません。ウイルスは目・鼻・口から入るので、そこを触る前にしっかり手を洗えば安心です。

子どもたちが描く将来の学校

片岡さん 新型コロナウイルス感染症の影響で行事が減ってしまい寂しく感じていましたが、形を変えて運動会や音楽フェスタができて嬉しかったです。当たり前だったことが変わった時に、どうすればいいか考える貴重な体験ができました。「布佐っ子笑顔 いつも全力 元気なあいさつ」の合言葉のとおり、元気なあいさつと笑顔があふれる学校にしていきたいです。

星野市長 布佐小は市で最も歴史ある学校の一つで、地域とも深い関わりがあります。伝統ある布佐小の卒業生であるという誇りを持ち、自慢話ができる大人になってください。

岡部さん 話す機会が少ないので全児童と仲良くなることは難しいですが、修学旅行でみんなと話をし、距離を縮めることができました。将来の一小は、全児童が仲良くなってほしいです。

星野市長 オンラインで知り合いは増えるけれど、親友はできません。面と向かって自分の考えを伝えることが大切です。親友をたくさん作り、助け合えるようになってほしいと思います。

藤井さん 湖北小の目標である「やさしく かしこく たくましく」のような児童がたくさんいる学校になってほしいです。

番場さん 湖北小は、みんなが相手のことを考えられる、にぎやかで楽しい学校です。これからも仲の良い湖北小を目指していきたいです。

星野市長 正しいと思ったことを言って衝突しても、仲が悪くなるわけではありません。自分が間違っていたと感じた時は、素直に謝って仲直りをしましょう。

先輩たちが残したさまざまな思いに、自分たちが描く将来の学校への思いを重ね合わせて、これからも各校の歴史を後輩たちにつないでください。



6面に続きます